

平成 27年 05月 30日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

なごもくの家

グループの名称

なごもくの家づくり協議会

直近採択グループ番号

※過去に地域型ブランド化事業で
採択を受けたグループは記入

(グループ代表者)

代表者名

丹羽 耕太郎

代表者印

代表者所属先

名古屋木材株式会社

代表者構成員番号

Ⅲ-2, V-2, VI-2, VII-2

代表者所在地

愛知県名古屋市中川区山王二丁目6番41号

代表者電話番号

052-321-1526

(グループ事務局)

事務局事業者名

名古屋木材株式会社 西部事業所

事務局構成員番号

IX-1

事務局担当者名

才賀 信子

印

事務局郵便番号

490-1444

事務局所在地

愛知県海部郡飛島村木場一丁目31番地

事務局電話番号

0567-55-1790

事務局FAX

0567-55-1791

事務局担当者E-mail

saiga@meimoku.co.jp

1. 地域型住宅の名称(必須)	なごもくの家
2. グループの名称(必須)	なごもくの家づくり協議会
3. 直近採択グループ番号(必須)	—
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	愛知県、三重県、岐阜県
5. 結成年(必須)	2015 年
6. グループ代表者名(必須)	丹羽 耕太郎
7. グループ代表者の所属先(必須)	名古屋木材株式会社
8. グループ代表者の構成員番号(必須)	Ⅲ-2, V-2, VI-2, VII-2
9. グループ代表者所在地(必須)	愛知県名古屋市中川区山王二丁目6番41号
10. グループ代表者電話番号(必須)	052-321-1526
11. グループ事務局事業者名(必須)	名古屋木材株式会社 西部事業所
12. グループ事務局の構成員番号(必須)	IX-1
13. グループ事務局担当者名(必須)	才賀 信子
14. グループ事務局郵便番号(必須)	490-1444
15. グループ事務局所在地(必須)	愛知県海部郡飛島村木場一丁目31番地
16. グループ事務局電話番号(必須)	0567-55-1790
17. グループ事務局FAX番号(必須)	0567-55-1791
18. グループ事務局担当者E-mail(必須)	saiga@meimoku.co.jp

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	5	原木供給業者が海外であるため、本申請において必要とされる念書が入手不可能であったため
II. 製材・集成材製造・合板製造	8	
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	7	
IV. プレカット	1	
V. 設計	20	
VI. 施工	18	
VII. 省エネルギー設備等の流通	2	
VIII. 木材を扱わない流通	0	
IX. I～VIII以外の業種	1	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称	国内・国外
	<small>※以下該当の①、②、③の番号を番号記入欄に記入してください。 ① 都道府県の産地認証制度等によるもの ② 民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) ③ 林野庁作成の「木材・木財製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成18年2月)」に基づき合法性が証明されるもの</small>			番号記入欄
	あいち認証材	愛知県	愛知県産材認証機構認証制度	1 国内
	「三重の木」認証材	三重県	「三重の木」認証制度	1 国内
	ぎふ証明材	岐阜県	岐阜証明材推進制度	1 国内
	ぎふ性能表示材	岐阜県	ぎふ性能表示材推進制度	1 国内
	合法木材	国外	合法木材証明制度	3 国外

B. 平成27年度における補助対象の木造住宅の申請戸数及び地域材加算申請戸数 (必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店+未経験工務店の合計		地域材加算合計		
	35 戸	35 戸	35 戸		
	うち経験工務店による長期優良住宅 合計	16 戸	うち未経験工務店による長期優良住宅 合計	19 戸	地域材加算(うち申請が確定) 3 戸 地域材加算(うち申請が未確定) 32 戸
	うち申請が確定	3 戸	うち申請が確定	0 戸	
	うち申請が未確定	13 戸	うち申請が未確定	19 戸	
	高度省エネ型(認定低炭素住宅) 合計	15 戸	地域材加算合計	15 戸	
	うち申請が確定	0 戸	地域材加算(うち申請が確定)	0 戸	
	うち申請が未確定	15 戸	地域材加算(うち申請が未確定)	15 戸	
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅) 合計	0 戸	地域材加算合計	0 戸	
	うち申請が確定	0 戸	地域材加算(うち申請が確定)	0 戸	
	うち申請が未確定	0 戸	地域材加算(うち申請が未確定)	0 戸	
C. 平成27年度における補助対象の優良建築物の申請棟数及び床面積(優良建築物を供給するグループのみ必須)	優良建築物				
	うち申請が確定	棟	m ²		
	うち申請が未確定	棟	m ²		

D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール (必須)

採択配分戸数が施工事業者数以上の場合は、原則として1社1戸を配分する。ただし、採択配分戸数が施工事業者数に満たない場合や事業実施の進捗が芳しくない場合は、これまでに長期優良住宅への取り組みが少ない事業者や請負契約が確定視されている事業者へ優先的に配分する。

E. 平成26年度の執行状況 (H26年度地域型ブランド化事業採択グループのみ必須)	長期優良住宅		完了実績見込み	
	採択戸数 戸	交付申請戸数 戸	竣工済 戸	竣工予定 戸
木造建築物	採択棟数	棟	採択床面積	m ²

県 番号	構成員 番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅷ. 木材を扱わない流通						
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) なごもくの家	(地域型住宅供給対象地域) 愛知県、三重県、岐阜県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) なごもくの家づくり協議会	(結成年) 2015年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	---	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	当地区特有の高温多湿の蒸し暑い夏を快適に過ごすため、夏の熱を逃がす又は軽減されることを配慮した住宅とする。また東海、東南海地震等の大型地震が想定されることから地震に強い住宅とする。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	耐震等級2以上の在来軸組工法とする。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	夏の熱を逃がすため、主な居室(居間を含む一体的空間および主寝室)において、二方向に開口部がある、または一方でも通風・排熱を促す取り組みがなされている。	◎
④①～③の背景	東海地方の夏は高温多湿で、全国でも有数の酷暑地帯である。冬は伊吹おろし、鈴鹿おろしという乾燥した冷たい風が吹くため、体感温度が北日本並みにまで低下する日がある。また東海、東南海地震の発生する可能性が高く、その場合は甚大な被害に及ぶことが想定される。	
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	ア. 屋根、外壁に遮熱シートを用いる。 イ. 石膏ボードを使用する場合は、押入・クローゼットは調湿機能付きのものを採用し、少なくともリビングにはホルムアルデヒド吸着性能のあるものを採用する。 ウ. バリアフリー性に関する基準を高年齢者等配慮対策等級3とする。 上記3項目のうち、2項目を満たすものとする。	◎
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a. ①用材の寸法規格化や建材の統一、標準仕様の設定	柱、土台は105角以上の含水率25%以下の乾燥材である愛知県もしくは三重県もしくは岐阜県の認証材であること。梁・桁の過半については含水率25%以下の合法木材を使用すること。	◎
②建材・資材調達の見直しや事務の合理化	一括購入、在庫保管を行い、安定供給をめざす。建材・資材のパッケージ提案を行い、仕様の集約化を図る。	◎
③生産の合理化等に向けた委員会等の検討実施体制	資材、流通、工法等のコストダウンを検討する委員会を立ち上げる。	○
④生産の合理化等に向けた事務局の役割	申請予定物件の生産スケジュールに合わせて、プレカット工場の日程の確保や価格の変動などの情報を考慮したうえでの建材・資材の在庫調整を行い、スムーズに建築が進むよう配慮する。	◎
b. ①グループの信頼性向上に向けた施工基準の整備	標準施工として通し柱の欠損を減らすために胴差仕口は無垢材対応の金物工法とする。健全な架工設計をめざすため、柱直下率(2階柱のうち直下に1階柱のあるものの割合)を50%以上とする。	◎
②グループの信頼性向上に向けた検査ルールの設定	事務局において、プレカット見積作成時に2階床伏図を確認することにより胴差仕口の確認、平面図またはプレカット図面により柱直下率を確認する。基準に満たない場合は、設計・施工グループに是正を求める。	◎
③グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール化	事務局が作成した地域材標準価格表に基づき、適正価格で見積を作成し、施主に提示する。また工事一式表示ではなく、工事ごとの見積もりとする。	◎
④グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	施主に向けて、プレカット工場・製材工業などの生産現場を見学する機会を設ける。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) なごもくの家	(地域型住宅供給対象地域) 愛知県、三重県、岐阜県
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) なごもくの家づくり協議会	(結成年) 2015年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	---	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備		
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①住宅履歴情報の共通管理 診断・点検方法の共通化	第3者機関の住宅履歴システム「いえかるて」の導入を会員に義務化する。 住宅建設に使用した図面、書類等を保管し、 点検・修繕スケジュールを把握するとともに、点検・修繕の記録を保存・管理する。	◎
②メンテナンス・リフォーム 基準の整備	「いえかるて」の点検・修繕スケジュールにのっとり、点検・修繕を行う。	◎
③住まいの管理・DIY相談会 体験会などの実施	「自分の家を守る」という意識を高めるために、リフォーム資材を取り扱っているプロショップやメーカーショールームを利用し、 住宅の維持・修繕に対して実際に使用されている資材を見学・相談する機会を設ける。	○
④グループ内における維持 管理検討委員会等の設置	事務局が補助金申請物件に対し、「いえかるて」導入の実施を登録証の写しにより確認する。	◎
b		
①グループ構成員の倒産廃 業時のバックアップ体制	事務局から施主へ代替可能な工務店の紹介を行う。	○
②グループ独自の瑕疵担保 ルールの整備		
その他 ※上記項目以外でグループ独自 のルール・目標があれば記入 してください。		
エ. グループの技術力の向上		
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①未経験工務店等への施工 技術研修会等の開催	・無垢材対応の金物工法、断熱講習会を行う。 ・長期優良住宅、低炭素認定住宅の経験のない施工構成員に対し、勉強会を行う。	◎
②①の研修会等の実施内容 とその開催頻度	・プレカット加工グループによる無垢材対応の金物工法の取付についての実施を含めた研修を行い、技術の習得を図る。 ・断熱メーカーとタイアップし、断熱講習会を行う。 ・長期優良住宅、低炭素認定住宅の認定までの流れを把握できる勉強会を行うか、第3者機関の行う説明会を案内する。 (少なくとも各1回、都度必要に応じて開催)	◎
③総合的な需給計画の策定 等の中長期的な取組	中期目標として、施工グループ構成員である全工務店の長期優良住宅や低炭素認定住宅の生産を グループとして全面的にサポートしていく。	○
④③に基づく業種ごとの合 理化への取組	各業種間の連結を密にし、情報の共有化を図るとともに計画性のある生産体制の構築を図る。	○
b		
①省エネ技術講習会への参 加目標人数	施工グループ構成員の全員参加を目指す。参加目標人数は修了済工務店を除いた16人。	◎
②省エネ技術講習会への参 加促進のための取組	事務局より各県で開催される講習会日程をメール等で連絡し、参加を促進する。	◎
c		
①新たな技術等の導入や開 発の検証のための方法	事務局が、建材メーカーの新しく開発した商品や住宅生産の専門誌等により取得した技術情報をグループ内に発信するとともに 採用の是非を委員会で検討する。	○
②新たな技術等の導入や開 発に向けた実証実験の実 施等	委員会にて導入できると判断した場合は構成員に案内し、サンプルとしての導入を施工グループ構成員に募る。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自 のルール・目標があれば記入 してください。	設計グループ構成員にも省エネ技術講習会への参加を推奨する。 外皮性能に関する基準の計算についての講習会への参加を推奨する。	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) なごもくの家	(地域型住宅供給対象地域) 愛知県、三重県、岐阜県
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) なごもくの家づくり協議会	(結成年) 2015年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	---	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	①地域材ごとの使用部位 (必須) ②地域材ごとの1棟当たりの使用量とその占める割合 (必須) 地域材利用に関する共通ルール (必須)	◎ ◎ ◎
	<p>地域材の流れ</p> <p>地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明</p>	
b	①地域材の在庫量や価格情報を把握・共有のための仕組み ②グループ全体における地域材の需給予測	◎ ◎
c	①-1 畳の活用 ①-2 和瓦の活用 ①-3 襖の活用 ①-4 障子の活用 ②その他地域の伝統的な素材や意匠の活用	○ ○ ○ ○ ○
d	①地域の伝統的なデザインを継承する取組 ②地域の住まい方の継承につながる取組 ③地域の街並み形成へ寄与する取組 ④和の住まいの要素を取入れた取組	○ ○ ○ ○
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	

【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
東日本大震災の復興に資する取組	東北地方で生産された針葉樹合板を一部の物件で使用する。	○

グループが取組む木造住宅・建築物の特徴
※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。
※申請に係る認定低炭素住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物型の性能や特徴等について記入してください。

<p><認定低炭素住宅></p> <ul style="list-style-type: none"> ・耐震等級 2以上を確保する。 ・太陽光発電、コージェネレーションシステム、空気集熱式太陽光工利用システム、太陽熱給湯、ハイブリッド型給湯器のいずれか1つ以上を使用する。 ・設置する便器はすべて節水に資する便器を採用する。
--

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。